

資料 2

- ・人口の半数は女性
 - ・農家世帯員、農業従事者、農業就業人口も約半数が女性
 - ・基幹的農業従事者は約4割が女性
- 經常利益増加率は女性が経営に参画している方が高い
- ・同居農業後継者のうち女性は1割を切る
 - ・農業経営者に至ってはごく僅か

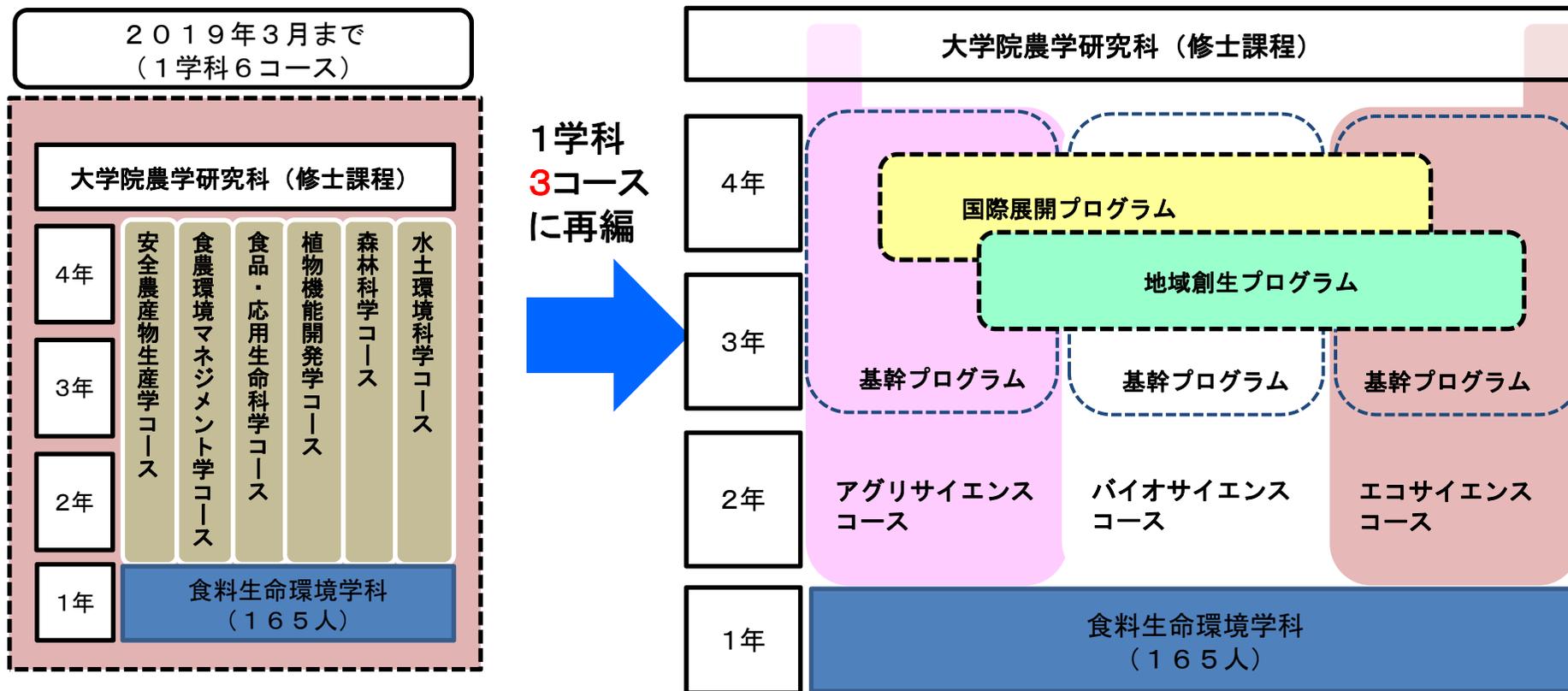
新規就農者の増加、確保、育成は待たなしなのに

農学部生の半数は女性なのに

➡ 職業の選択肢として農業を示せていないのではないか？
実際に活動している人たちと関わるのが1つの手



それが “チームはぐくみ”



●アグリサイエンスコース(上限60人)

安全な農畜産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術を学ぶ。さらに、限られた資源(物的資源、人的資源)を有効に利用するためのマネジメントについて学ぶ。

●バイオサイエンスコース(上限60人)

植物や、微生物、高等動物など多様な生物を対象とし、これらがもつ生理機能の解明、有用機能の探索・改良など、広範囲の領域を基礎から応用まで学ぶ。

●エコサイエンスコース(上限60人)

農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム、機能を理解し、それらが産み出す恵みを楽しみながら、将来に渡り持続可能な形で管理、保全するための理論や技術を学ぶ。

3年進級時に3プログラムの中からプログラムを選択(各コース共通)

基幹プログラム

アグリ、バイオ、エコの各コースについて、それぞれの課題を解決するための理論や技術を学び、サイエンスを指向する。

国際展開プログラム

語学力向上と、外国人留学生との交流を含めた演習、海外実習などを学び、グローバル化の進む日本社会の課題を解決するための国際的感覚を身につける。

地域創生プログラム

食や農を核とした地域振興のニーズにこたえるべく、地域の活性化とその好循環の維持の実現するための地域社会をマネジメントする方法を学ぶ。

どんなことが出来るかな

- ①農業女子プロジェクトメンバー等による学生への講義の実施
 - ②農業女子プロジェクトメンバー等の圃場における体験実習
 - ③農業女子プロジェクトメンバー、山形大学学生とコラボした取組
などなど できそうなことは一杯ありそう
- でも今までやってなかったんだから 何をしたいのか から考えて
取り組みには具体的にどうしたらいいか を相談して考えて

➡そして実行

4月16日 山形大学農学部 × やまがた農業女子ネットワーク
農業女子プロジェクト チーム“はぐくみ”の加入に向けてのプレゼンテーション

7月30日 女性農業者による山形大学農学部学生に対する出前講義

11月16日 ファーマーズ MEET-UP in 最上

**次に 農業女子の元でのインターンシップ、
農場フェスティバルへの農業女子の参加 などなど**